

地域文化の創造

文化
なかの

中野市公民館報



練習の成果を熱演する参加者

2008

No.45
(通巻No.57)

12

発行
中野市中央公民館

編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号

TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

北部公民館

第22回北部公民館

文化祭

北部公民館は11月8・9日
(土・日) 第22回北部公民館文化
祭を開催しました。

作品展や芸能祭などの出場者は、
大半が地元の関係者ということも
あって、会場は大変盛り上がりがあ
りました。

来場者からは、「北部公民館の
文化祭は、身近な知り合いが出品
してたりして、地元の公民館とい
う感じが好きです」との声が聞か
れました。

今月号の
特集

編集委員体験取材
●分館活動レポート

あおぞら

高社山に3回雪が降ると
里にも雪が降る。と小さい
頃から言われ、今年は1回
降ったら、翌日には里にも
雪が降った。雪が降る時期
になるといつも思うことが
ある。

日本は四季のある本当によい国
である。特に日本の屋根といわれ
る長野県は面白いと思う。なぜな
ら、北信の県境は全国でも有数の
豪雪地帯といわれながら、南信の
南ではほとんど雪は降らない。
中野においても、北の方面は積
雪が1mを越すことがあるにもか
かわらず、南は日当たりがよけれ
ば雪が降っても、晴れば数日で
地面が顔を出す場所もある。気温
も然りである。まるで日本の四季の
縮図を地元で見ているようである。
地球温暖化といわれているが、
この歳(40代)になっても雪が降
ると「もっといっぱい降らないか
な」と楽しみになる。そして3月
になるとまた、春を感じる。四季
を感じられるところに生まれ育ち
よかったと思う。

師走になると何かと忙しい。
「忙しい」とは心を亡くすと書く。
20年ぐらい前に、誰かに言われた
ことがある。「忙しいときこそ、
忙しいと口走らないよう気をつけ
ている」と。

新しい年に向かって、時に流さ
れないよう見慣れた風景をじっく
り見ることも大切なかなと思う
師走である。

(〇)



編集委員の体験取材



芸達者たちの芸能祭



スポーツ吹き矢はやみつきになりそう

ふれあう機会に

（日和分館）

日和分館は10月26日に第4回日和区文化祭を日和集会所で行った。

午前中はバザーやスポーツ吹き矢など。特に、指導員を招いてのスポーツ吹き矢は初めての試みとのこと。始めはおっかなびつくりだった参加者たちも「やみつきになりそう」「もう1回やりたい」と白熱し、予定時間をオーバーして楽しんでいた。

午後は芸能祭。芸達者たちが定番のカラオケ、ギター演奏に踊りや舞い、沖縄民謡に本格的な津軽三味線など、自慢の芸を披露。大勢の区民の皆さんから拍手喝采を浴びていた。

「こういう機会がなければ一生見ることが無かったと思います」という司会者の言葉に、思わず同感！楽しい一日を過ごした。

(T2)

公民館は集う場所

（更科分館）

先月11月9日に更科区の総合文化祭が公民館の産業部と家政部の共催で行われた。

10時からの一般公開ということで、9時頃から大根、白菜、りんご、盆栽など大量に運び込まれた。公民館の

玄関前には、2名の青年が包丁研ぎのボランティアでお客様を待っていた。中に入るといい香りがしていて、一本50円で「おでん」を販売していた。

大広間では主な出品を展示しており、農産物は比較的小さく、パッチワーク、写真、活け花など趣味の会の出品が多い。作品には、金賞、銀賞、銅賞、区長賞、館長賞などが貼られていた。

一通り見学し終えたら、役員さんが無料のキノコ汁のサービスをしていた。参加者は、温かいキノコ汁を食べながら、いろいろな話をし、笑顔で帰っていった。

今回、更科公民館の文化祭に参加してみて、「公民館は集う場所」であると、あらためて感じた。

(U)



取れたて新鮮野菜と自慢の盆栽が出品された

分館活動レポート

高社山の麓、赤岩公民館の総合文化祭が11月3日開催された。

さつきの会をはじめとして、お花の会、俳句の会などによる芸術作品が数多く出品された。個人的には、科野小学校6年生が描いた俳句と絵手紙が融合した作品が目をついた。写真にあるのは、今はトンと見なくなった、わら馬だ。昭和53年、中野市で国体の剣道競技が行われたとき、選手と役員に記念品として贈られたのが、この赤岩のわら馬だ。かつては各地で盛んに作られていた、わら細工。ぜひ後世に受け継いでいきたいと仲間を募っているのと。

夕方6時から、芸能祭。民謡踊りの会、大正琴の会、カラオケ愛好会、新道組、上町組の皆さんによる発表が行われた。趣味か芸術かはとも



ぜひ後世に受け継いでいきたい「わら馬」

かく、一生懸命演じる姿にあたたかい拍手が贈られた。トリを飾ったのは謡曲の会による「謡」、演題は「柏崎」だ。ふつう、謡(うたい)は昔の言葉で歌われ、詩の内容が理解しづらいが、ここではそれを演劇にしているので、親しみ易く、わかりやすかった。哀愁と笑いを誘う演技は、感動的で、もっと多くの人に見てもらいたいと思った。(え)

赤岩分館

一生懸命な演技

豊田地区穴田分館の文化祭が、秋晴れの11月2日に穴田公民館で行われた。

公民館の玄関を入ると大輪の菊が迎えてくれた。展示コーナーには、フラワーアレンジメント、絵画、書写真、水引など、たくさん作品が展示され、穴田の方の多彩な文化活動が感じられた。大広間では、保育園児の元気もりもり体操で発表会がスタートした。小学生によるダンスや寿の会の皆さんによるコーラスも続き、会場からはアンコールの声もかかるほど盛り上がった。また、特別参加として長野市から豊野マジック愛好会7名の方にも来ていただき、華麗なマジックショーが披露され、彩りを添えていた。

公民館前の広場では、おでんや肉まんなどの販売もあり、にぎわっていた。そして、文化祭の最後は餅つきです。小学生も一生懸命餅つきをし、



一生懸命についた餅



熱心な演奏

つきたての熱々のお餅をみんなで楽しく味わっていた。穴田の皆さんの温かい集いとなった文化祭だった。(ら)

穴田分館

温かい文化祭

こんにちは 分館

岩井地区は、飯山市堺に位置している中野市北部の地域であり、世帯数91戸の区の中で分館活動をしています。

本年度の主な事業は、区民はもとより、児童会・PTA・老人クラブに呼びかけ「三世代交流花火大会」を8月に開催、30数名の参加を得、夏のひとときを過

ごしました。毎年実施している「人権教育懇談会」には20数名出席の中で、男性・女性の仕事と役割から家庭内の協力性など、意見交換をしました。

また、倭地区分館協議会の最大事業「やまと海水浴」に、岩井分館も参加し海水浴のほか、スイカ割り、宝探し、最近問題となった「食育のお話」などがあり大好評を得ました。

岩井分館

(分館長 山田敏郎)



～盛況だった「やまと海水浴」～

ふるさとの歴史

岩井の現村落は、千曲川右岸の自然堤防上に位置しているが、もともとここにあつたわけではない。東方の字月岡に隣接する

山麓にあつたのである。鳴沢山などの岩間から湧き出る水が流れくだつていたのでこの地を岩井(祝)といつた。

岩井村は岩井地名にちなんだ村名である。

ところで山麓の西方には上土浮、中土浮、下土浮などの地名が帯状につらなっている。先学は千曲川がか

つてここを流れていたためという。その後、千曲川は流路をかえて、北へ直線的に流れるようになり、右岸に自然堤防を形成する。いつの頃か、月岡界隈の人

岩井の村落移動

達は、ここに移り住む。文書にみえるこの岩井村の初見は天文21年(一五五二)である。その後この岩井からわかれて、東岩井が開発され、分立する。それは元和2年(一六一六)

とも慶安5年(一六五二)ともいわれるが、いずれにしても岩井村の成立以後である。この東岩井は岩井の旧地である、月岡近くなので、東岩井こそ古いのだといわれもするが、前述のことからすれば岩井こそ本村だったといえよう。

ちなみに飯山城将をつとめ、米沢でも上杉家中にあつて重きをなした岩井

氏はそれ以前に一時岩井を領し、字月岡に館を構えていた。岩井の地名をとつて、氏名としたほどに、岩井とは縁が深く忘却できない武将である。

(田中 毅)

編集委員 だより

11月14日に野沢温泉村で開かれた中高社会教育研究大会へ出席しました。

中野市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村の各団体が教育や地域づくりなどをテーマに意見交換し、私も「ふるさと冒険クラブ」の一員として経験談や意見を述べさせていただきました。

各団体の活動内容は様々ですが、共通の課題は▽参加者数▽団体の後継者、若者の参加▽金銭面など。悩みはこの団体も同じようでした。

解決のための妙案が簡単に見つかるわけではないですが、中野市に限らず、少し広い範囲で情報収集することも大切だと思いました。市町村やジャンルと表面的な違いにこだわらず、成功例に学び、共通の課題を照らし合わせることで、別の機会で聞いた話ですが、逆に最悪は、自己中心的でいつでも「私はやっている、あなたに原因がある」で他人を批判し自分を省みない。外部からの情報を立ち切り、意志疎通も図らない。私も耳がいたい話だと聞いていました。

人と会い話すこと、これほど自分のためになり楽しいことはないと思います。「連携」も、お互いの情報交換と意志疎通から。外には楽しいことが沢山あるようにも感じました。

編集委員長

荻和武史

熱心に課題を検討する参加者



今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

中央公民館	講座名	日時	場所	講師	備考
	展 示 中央公民館 展示コーナー 墨雲会・小筆の会の書道展				
西部公民館	新年“ちからもち” 書初め会	1/6(火) 10:00～15:00	西部公民館	町井秀治さん	<定員>30名 <対象>小・中学生 <受講料>餅代 100円 <持ち物>書道用具、 書初め用習字紙、 箸、お椀 <申込み>12月16日(火)から
	ものづくり教室	1/10(土) 10:00～12:00	西部公民館	原 楫さん	<定員>20名 <受講料>材料費 300円 <持ち物>三角巾、エプロン <申込み>12月16日(火)から
豊田公民館	ものづくり	1/10(土) 10:00～12:00	もみじ荘	信州中野 ふるさと 交流団 のみなさん	<定員>20名 <受講料>材料費 100円 <持ち物>はさみ、お盆、 エプロン <申込み>12月26日(金)まで

第1回 おはなしフェスティバル



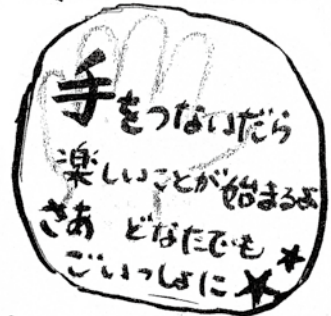
文化なかの

→ おはなしなかの交流発表会 ←

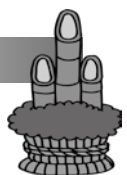
いつ 平成20年 **12月14日(日)**

ごぜん 10時から ごご3時半まで

どこで **中野中央公民館3F講堂 (入場無料)**



新春のつどい



新年のご挨拶は豊田文化センターでどうぞ。

勇壮なふるさと太鼓の演奏をお楽しみください。～あったかーい汁をどうぞ～

日時 1月2日(金) 10:45～11:30 ※新春走り初め大会終了後から始まります

場所 豊田文化センター 駐車場



イチョウ / 北公園 (月岡尚雄)



ドングリ / 一本木 (月岡尚雄)



七五三 / (BUSI)



紅白 / 文化公園・創造館付近 (メタ坊)

花と季節の写真 募集

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります・四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。

氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

宛先は中央・北部・西部・豊田公民館
 ☎383-0025
 中野市三好町一丁目4番27号
 ☎22-2691(有線20691)
 Eメール c-kominikan@city.nakano.nagano.jp

季節のコラム

わが国では、先ごろ新内閣が組閣され、米国では次期大統領が選出された。中野市でも任期を残しての故青木市長に代って小田切市長が誕生した。

季節の上では締めくくりの時期でもあり混沌とした世の中なかではあるが、明日へ向って「さあ、やろう！」の風が吹き始めたようだ。

明るい展望が開ける新年を迎えたい。